

健康教室

健康福祉部会

部会長 丸山 保

さる、平成26年10月26日（日）に健康福祉教室【介護予防体操】を開催したところ、各町内から大勢の参加をいただき、有難うございました。講義の中に「健康で長生きしたい、どうしたら良いの？」というフレーズがあり、「運動と栄養と社会活動」が大切であるとのこと。但し、運動時には、「決して無理をしない、他人と比べない、正しい姿勢で行う」などの発見もありました。社会活動の中には「生きがいやトキメキ」を持つ事が、「心の老化」を遅らせるともあり、感心させられました。また、いきいき筋力アップ体操（予防運動）は、

- ①つまずきやすくなった
- ②横断歩道を渡りきるのに不安
- ③猫背が気になる
- ④元気に外出したい

など、日頃の動作に不安が

あったり、より元気に行動したい人にお勧めとのこと。



後半は実際に軽い運動を実践しました。皆様も無理をしない程度に軽い運動などを心がけ、少しでも介護日数を減らし健康でいられることを願うところです。



記者の視点

クリーンにいがた推進員
施設見学会に参加

私達が日常出している燃やすごみの処理施設「新田清掃センター」を見学してきました。ごみが資源として、熱や電気、建設資材、金属等に変わり、安全・安心の施設として日夜稼働しています。付属の施設として、「アクアパークにいがた」があり、温水施設や浴室でごみ処理で発生した熱が利用されています。清掃センター見学後、食事をしたり、温水プールや浴室を利用したりすることができます。ぜひ、自治会等の旅行会や学習会にご利用ください。



新田清掃センター

私達が出している蛍光管のリサイクル処理施設「北陸ジオテック」を見学してきました。有害物質の水銀を回収し、ガラスや金属類に分別され、再利用される工程を見ました。新潟県内の70%位を処理しているとのこと。残りの30%は県外等に排出されるとのこと。



北陸ジオテック・蛍光管リサイクル

安心・安全な処理をするために重要なことは、**正しく分別し、指定日に正しく出す**ことです。ご協力をお願いします。

編集後記

今年度は、2回（3号、4号）発行することができました。ありがとうございました。

副会長就任あつち

紫竹山校区コミュニティ協議会
副会長 岡 徳太郎



この度、長らく紫竹山校区コミュニティ協に尽くしてこられた榎田副会長様に替わり、

後任として就任させていただきました。日頃は、自分の自治会内での運営で精いっぱいのお所であり、コミ協役職などでも、とても、と思っております。しかし、各自治会長様方は、それぞれのコミ協部会役員を始め、役職を分担されておられることから、会長ご指示に従い微力ながら勤めさせて頂くことといたしました。さて、当コミ協では、石口会長のもと、交通安全部会を始め、六つの部会がそれぞれ活動しております。従いまして、まずはこれらの部会活動が円滑に活動できますよう務めて参ります。また、会長のもと、地域が直面する新たな諸問題にも取り組み、住民の方々から身近に感じているだけのコミ協として「住みよい、明るい街づくり」を目指し、責務を果たしたく存じます。これからのコミ協の運営に、会員皆様のご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

中央区区長懇談会

高橋区長のお話

当コミ協の都合で実施できなかった懇談会を中央区長 高橋様、地域課長 長浜様、地域振興担当係長 笠井様をお迎えして、実施することができました。一昨年4月より区長になり2年目に なりました。中央区生まれ、中央区育ちであり、土地勘があると思っております。就任当初、自転車で区境を走ってみました。中央区も多様な側面を持つた地域があると実感しました。区長である限り、いろいろな所を足を運び、皆様の意見を聞き、取りまとめたり、各課との調整を行う役割と思っています。今年の新潟市、中央区を取り巻く状況についてお話しします。

①増田寛也（前岩手県知事）さんが日本創生会議分科会で「人口減少消滅可能性都市」を発表。この流れは現自民党石破大臣が担当している地方創生に繋がっている。そのままにしておく、相当数の市町村が消えて無くなってしまふ。人口は減りつづけ、町の役場一つとつても施設の維持ができなくなる。とにかく人口が増加するようなのは望めず、人口減っていくのが日本の現状です。新潟市も中央区も例外ではない。いろいろな対策を将来に向けて、考えていきますが、とにかく減少が止まるようなことはないと頭に入れた。

自治会長他研修会

11月18日（火）区長懇談会後に、校区自治会の自治会長・役員研修会及び親睦会を行いました。岡副会長より、今後地域の繋がりがや支え合いが重要になるので、後日、各自治会が独自で実施しているイベント等に関するアンケート（自治会長様宛）を行い、そのま



とめにより、今年度2回目の研修会を実施するとの話がありました。

紫竹山コミ協 会報 むらさき



第4号

発行日 平成27年3月1日
発行 紫竹山小学校区
コミュニティ協議会



テーマ	現状と問題点・要望・提案	中央区の回答
問題点解決	①背割り排水路、側溝改善について	個別の問題は、別途回答させていただきます。一般論としての都市部の背割り排水路等のお話があった。
	②迷惑住民に対する対応相談について	正直言って一番難しい問題です。共同住宅での問題、空き家等についてお話があった。
	③むらさき通り通学路の歩道整備について	個別の問題は、別途回答させていただきます。予算も限られていますので、優先順位で、より危険な所から順番にとということになります。
	④住所表示と実際の自治会の範囲が幅較(ふくそう)している問題点について	悩ましい話を聞かせてもらいました。
	⑤通学路の歩道が、樹木により暗がりになっている問題点について	悩ましい話を聞かせてもらいました。
確認事項	①津波避難ビル等に関する具体的な対策について	いろいろな窓口を利用して、我々でできる範囲で、プッシュしてゆきたい。
	②津波避難マップ作成の事業は、どうなったか	県の津波設定の見直し後に具体的に進めていく予定です。
	③民間ビルに対する津波避難ビル依頼について	どのように呼びかけるか、防災課等へ相談したい。
	④網川原線2号が弁天線に出る交差点整備の進捗について	個別の問題は、別途回答させていただきます。
	⑤紫鳥線の自転車道、歩道の整備について	個別の問題は、別途回答させていただきます。
提案・要望	①スマホアプリを活用して市民による情報提供について	いろいろな先進市の情報を入手に努めている。双方向のアプリについては、いつになるか分からないが研究中です。
	②地域住民と契約しての下水道、側溝管理について	改めて予算化するというアイデアはいただくが、技術的にはそうとう困難であると思う。
	③コミ協拠点の将来のICT活用に向けて、情報インフラの基盤整備について	中央区としても段階的になると思いますが、関係する部署には呼びかけていきます。

※紙面スペースにより、「現状と問題点・要望・提案」と「中央区の回答」を要約しております。微妙な差異が生じているかもしれません。お許しいただきたいと思ます。尚、詳細について、ご興味のある方は、編集委員 中村(駅南コミセンまちづくりセンター:常駐ではありません)にお問い合わせください。



10/25 防災訓練

部会長 中村 昌雄



10月25日(土) 紫竹山小学校PTA主催、コミ協協賛で、赤い羽根共同募金の助成を受けて、防災訓練を行いました。当日は他所でもイベントがあり、参加者は、約110名でした。地域への告知が遅れたこと、また、紫竹山小学校が避難場所でない自治会では参加者が非常に少ない結果になってしまいました。来年度の反省材料となりました。今回は、赤い羽根の助成を受け、コミ協より特別枠の予算をいただき、自治会毎のほり旗、訓練用消火器等備品を購入でき、各自治会の防火訓練等で使用できるように常備することができました。

② 消火訓練



① 防災訓練開始



③ AED操作法



④ 防災講演会



⑤ 防災食試食



⑥ その他

